

教科名	社会	科目名	歴史総合	履修学年	中学 高校	1年	1~7	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	教科書：山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ』						
担当者	本間裕章 吉野聡 堀内厚平		副教材：山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート』 授業プリント等						
学習目標	近現代の世界とその中の日本について、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせつつ、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。			近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度及び多面的・多角的な考察や理解を通して社会人としての自覚を身に付けるとともに、多様な世界を全体として尊重する態度を身に付けている。			
各観点の評価方法等	考査における知識問題と資料読みとり等の応用問題		考査における資料読みとり等の応用問題（論述問題） グループ協議やペアワークによる意見交換および発表 振り返りシート・レポート等			グループ協議やペアワークによる意見交換および発表 振り返りシート・レポート等 授業以外での活動や自発的な成果物等			
学期末の各観点比率(%)	30%		50%			20%			
授業計画									
学期	月	大項目・中項目		小項目			時間数	評価区分1	評価区分2
1 学期	4	第Ⅰ部 近代化と私たち		1. 18世紀の世界とアジア 2. 産業革命 3. アヘン戦争と日本 4. 日本の開国 5. 日本開国期の国際情勢			8 時間		1 学期 中間 考査
	5			6. 開国後の日本社会 7. 市民革命と国民統合					
	6			8. 明治維新 9. 富国強兵と文明開化 10. 日本の明治初期の外交 11. 大日本帝国憲法の制定 12. 日本の産業革命 13. 帝国主義 14. 日露戦争と韓国併合 いまの私たちにつながる課題			8 時間		1 学期 期末 考査
	7	第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち		1. 大衆運動の芽ばえ 2. 第一次世界大戦					
	8								
2 学期	9			3. 第一次世界大戦と日本 4. ロシア革命とその影響 5. 社会運動の広がり 6. 国際協調 7. アジアの民族運動 8. 大量生産・大量消費社会			12 時間		2 学期 中間 考査
	10			9. 世界恐慌 10. 独裁勢力の台頭 11. 日本のアジア進出 12. 第二次世界大戦 13. 第二次世界大戦と日本 14. 第二次世界大戦の終結			11 時間		2 学期 期末 考査
	11			15. 戦後国際秩序 16. 冷戦の始まり 17. 日本尾戦後改革と日本国憲法 18. 日本の独立 いまの私たちにつながる課題					
	12	第Ⅲ部 グローバル化と私たち		1. 第三世界の登場 2. 冷戦の固定化と「雪どけ」 3. 冷戦の展開 4. 55年体制と安保闘争					
3 学期	1			5. 高度経済成長の光と影 6. ベトナム戦争とアメリカ 7. 経済構造の変化 8. 日本経済の大国化 9. アジアの経済成長 10. 社会主義の停滞と新自由主義			17 時間		3 学期 学年 末 考査
	2			11. 冷戦の終結 12. 冷戦後の地域紛争 13. 地域統合 14. 現代世界の諸課題 15. 日本の諸課題 いまの私たちにつながる課題					
	3						計56時間 (除定期考査)		